

**第 4 章**  
**計画実現に向けて**

## 第4章 計画実現に向けて

### 1 スポーツ推進のための役割

本県のスポーツ推進を支え、活動する全ての機関、団体が、それぞれの活動を最大限充実させ、他の機関、団体と連携して活動をすることで相乗効果を生み出し、着実かつ円滑に計画を実現します。

#### (1) (公財) 岐阜県体育協会

スポーツの中心的役割を担う団体であり、県内の競技団体を統括する団体として、各組織や団体と連携・協力し、実効性のある強化事業や施策を推進することが重要です。また、地域スポーツクラブへの支援などを行い、県民の健康増進、体力の向上やスポーツ機会の提供を行い、健康で明るい生涯スポーツ社会の確立に努め、岐阜県のスポーツの発展に取り組むことが期待されています。

#### (2) 岐阜県レクリエーション協会

県内のレクリエーション関係団体及び指導者の統括団体として、地域や職場に密着した活動を展開しています。レクリエーション関係団体と連携し、組織の充実・強化を行い、多様なプログラムの提供とサービスの充実を図ることで、各世代へのスポーツの普及を進めます。本協会には、平成28年開催予定の「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」に向けて、これまで以上に大きな役割が期待されます。

#### (3) 競技団体

各競技団体は、競技力の向上を図るため、指導者の資質向上の支援や、所属クラブや学校・企業・地域のクラブといった関係団体との連携が重要です。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、ジュニアから成年に至る活動プログラムを効果的に展開していくことが期待されています。

#### (4) (一社) 岐阜県障害者スポーツ協会

県の障がい者スポーツを統括する団体であり、競技の普及、選手の育成などさまざまな活動を実施しています。今後は、2020年東京パラリンピックを見据え、さまざまなスポーツ関係団体と連携し、障がい者スポーツを支える体制整備や選手の発掘・強化などを推進します。本協会には、県全体の障がい者スポーツを包括的に担う団体として、ますますの活動が期待されます。

#### (5) 岐阜県スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ推進委員は、各市町村におけるスポーツ行事の企画運営や実技指導を行うなど地域スポーツ推進のための重要な役割を担っています。岐阜県スポーツ推進委員連絡協議会では、各地区の連絡協議会や郡市スポーツ推進委員会と連携し、スポーツ推進委員への指導助言や資質向上に取り組んでおり、今後も、そうした取り組みを充実させ、スポーツ推進委員活動の活性化と地域スポーツ発展へのさらなる活躍が期待されています。

## (6) 地域のクラブ

地域スポーツクラブは、住民の身近なスポーツクラブとしての、スポーツ機会の提供と、競技力の強化の役割を担います。スポーツ少年団については、青少年の健全育成と生涯スポーツの芽を育てることが重要です。総合型地域スポーツクラブは、多世代・多志向・多種目の活動が行われるよう、マネジメントや指導体制等の整備・充実を図り、クラブの運営の安定化や活動の活性化につなげるとともに、競技団体や企業・県などと連携し、地域スポーツを推進します。

## (7) 学校

学校体育は、豊かな心と健やかな体づくりを推進することで、子どもたちの創造性や表現力を高めるとともに、他者との心のつながりをもちながら、相互に理解し尊重し合う土壌を培う役割を担います。

学校における運動部活動の充実は、講習会などを受けた指導力のある指導者を配置することや、地域のクラブや企業クラブと連携を図り、外部の指導者による指導を行うことが重要です。各学校は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、それぞれの学校単位での強化を推進していくとともに、県レベルの競技力向上という観点から、競技団体との密接な連携のもとに組織的・計画的に強化に取り組みます。

## (8) 大学

トップアスリートが多数在籍する大学は地域スポーツの拠点として、競技力強化や地域に根ざした活動が期待されています。特に、ジュニア世代へのスポーツ教室実施などによるジュニアアスリートの競技力を向上するシステムの構築や、地域スポーツクラブや自治体などと連携したスポーツ機会の提供、ボランティア活動の支援による社会貢献活動が期待されています。

## (9) 企業

「ぎふ清流国体」では、複数の企業が選手を雇用し、クラブを形成する「岐阜方式」による強化が成功し、その後も岐阜方式が継続され、効果を生んでいます。これが一過性で終わることなく、本県で育ったアスリートが、県内に就職を希望するようなスポーツ環境の整備や、地域のクラブなどと連携し、地域スポーツの競技力向上やクラブの育成などが期待されています。

## (10) 県

県は、本県のスポーツ推進を支え、活動する全ての関係機関、団体と連携、協働し、県全体のスポーツ施策を推進する役割を担います。競技力向上や、スポーツ環境の整備、スポーツ機会の提供、スポーツによる地域振興などの取り組みを展開し、スポーツによる健康で豊かな県民生活と活力ある地域社会を進めます。

## (11) 市町村

住民にとって一番身近な自治体として、スポーツ教室などのイベントを開催し、住民の心身の健康づくりを進めます。また、シンボルスポーツの競技力向上など地域に応じたスポーツ推進を、競技団体や県と連携し取り組みます。

## 2 計画実現に向けたロードマップ（変更）

分野	施策の方向性	施策の展開	H27(2015)	H28(2016)
競技スポーツの推進	選手の育成・強化	○ジュニアからトップスポーツまでの一貫した育成・強化		
		○アスリートへの科学的サポートの強化	・フィットネスサポート ・動作分析、レース・ゲーム分析 ・トレーニング指導 ・栄養・メンタルトレーニング指導	
		○ジュニアアスリートの発掘・育成		
			リオオリンピック出場目標 20名	
競技スポーツの推進	指導者の養成	○指導者養成講習会の充実		
		○指導者資格取得支援		
		○強豪チームコーチ研修		
競技スポーツの推進	組織の育成・強化	○トップアスリート拠点クラブの育成・支援		
		○大学を拠点にしたクラブ育成		
		○市町村によるシンボルスポーツクラブ育成		
競技スポーツの推進	諸条件の整備	○トップアスリートの就職支援	アスリート・ナビゲーション導入	
地域スポーツの推進	スポーツ機会の提供	○レクリエーションスポーツの普及・推進		
		○地域のスポーツイベントの充実		全国レクリエーション大会 in 岐阜 開催
地域スポーツの推進	スポーツを支える人材の育成	○クラブマネージャー及び指導者の育成		
		○スポーツボランティアへの参加促進		
		○地域でスポーツを支える人材の連携強化		
地域スポーツの推進	推進組織の育成	○広域スポーツセンターの機能拡充		
		○地域スポーツクラブや		
		○各スポーツ団体の連携強化		

H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
			オリンピックアスリート強化支援	東京オリンピック出場目標 30名
			国体等トップアスリート強化支援	
専門職員・ 機材の拡充	2020 オリンピックアスリート支援に 対応したマルチサポート体制の実現			
平昌冬季オリンピック出場目標 5名			育成・強化	
			タレント発掘	
指導者養成講習会の開催				
日体協公認指導者資格取得推進	◆毎年 80 人 (40 競技×2 人)			
全国大会優勝チームへの派遣・研修	◆毎年 40 人 (40 競技×1 人)			
育成・支援 (トップアスリート拠点クラブ数 8 → 16)				
大学・市町村による設立を支援				
アスリートと企業との面談を仲介・企業との連携				スポーツ実施率 65%
幼児・中高年・高齢者を対象とした教室開催				
会場地市町村におけるシンボル種目定着				
スポーツ教室・参加型スポーツイベントの開催				
資格取得促進・資質向上研修会の開催				
スポーツボランティアへの参加促進				
スポーツ推進委員等の連携				
各圏域にモデルクラブを指定 → モデルクラブによる各地域クラブへの巡回指導				
地域スポーツクラブ連絡協議会設置 (クラブ間の連携・交流を推進)				

東京オリンピック・パラリンピック

分野	施策の方向性	施策の展開	H27(2015)	H28(2016)
学校体育の推進	幼児の運動遊びの充実	○幼稚園等指導者の指導力向上 ○運動できる場や機会の設定（スポーツの生活化） ○ミナモダンス・体操の継続実施	指導マニュアルの研究・開発 ガイドブックの作成	
	学校における体力づくりの推進	○体力づくりプログラムの開発・実践 ○運動やスポーツに取り組む意欲や態度の育成	プログラム作成 共通目標設定	
	体育・保健体育の授業の充実	○運動やスポーツの楽しさや喜びを味わうための指導方法の研究・実践とその成果の普及 ○体育担当教員の資質向上 ○外部指導者の活用	授業展開の研究 体育指導者バンク設置	
	運動部活動の充実	○指導者の育成 ○中学校運動部活動指針の作成・運用 ○外部指導者の活用	講習会プログラム作成 中学部運動部活動に関する検討会の設置	
	障がいの種類や程度に応じた運動の推進	○特別支援学校・学級の部活動の充実	活動の場の確保・指導の在り方検討	
障がい者スポーツの推進	選手の育成・強化	○パラリンピック等出場選手の発掘から育成までの一貫した支援		リオパラリンピック 出場目標 5名
	スポーツを行う障がい者の裾野の拡大	○スポーツ教室の拡充 ○全国障害者スポーツ大会への選手団継続派遣 ○岐阜県障害者スポーツ大会等の充実・参加促進		
	障がい者スポーツを支える環境整備	○障がい者スポーツを支える組織づくり		
		○専門指導者の養成		
	○障がい者スポーツ施設の充実 ・新福祉友愛プール（仮称）の整備 ・障がい者用体育館の整備 ・県立学校体育施設や市町村スポーツの利用促進 ○スポーツ施設バリアフリー化	建設 建設	供用開始	

H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)		
指導者講習会の開催・普及実践					全国体力等調査順位 10位以内	
幼稚園等の生活の中での運動実践						
ミナモダンス・ミナモ体操の継続実施						
実践・検証・改善						
児童の自発的取り組みの促進						
モデル校での実践Ⅰ		モデル校での実践Ⅱ 各校での実践				
指導者研修会の充実						
体育指導者バンク運営（トップアスリートクラブや大学との連携推進）						
受講済み指導者の育成・配置						運動部活動の活性化
モデル校での実践		全県に普及				
地域スポーツクラブ等との連携						
各校・各学級での活動定着						
全国・国際大会への出場支援 中央団体練習会・合宿等への参加支援					東京パラリンピック出場目標 10名	
パラリンピック種目等のスポーツ教室の開催						
裾野拡大						
継続派遣・大会経験者拡大						
大会拡充・参加促進						
県障害者スポーツ協会の組織強化・各障がい者スポーツ競技団体の組織化・スポーツ関係機関・団体との連携強化					裾野拡大	
養成研修会の実施、講習会・強豪チームへの派遣						
スポーツ教室開催・練習拠点として活用						
供用開始	スポーツ教室開催・練習拠点として活用					
継続実施						
市町村への継続支援						

東京オリンピック・パラリンピック

分野	施策の方向性	施策の展開	H27(2015)	H28(2016)
スポーツによる地域振興	スポーツによる地域ブランド確立 （“スポーツの聖地”づくり）	○国内外強豪チームの合宿誘致	世界陸上北京合宿誘致	合宿誘致活動
			外国語版PRツール制作	
	スポーツによる交流人口の拡大	○スポーツイベントの誘致・開催  ○スポーツツーリズムの推進	全日本マスターズ陸上 全日本実業団陸上 ジャパンカップ国際女子ソフトボール大会	アジアジュニアポート選手権 全国レクリエーション大会
スポーツによる地域の絆づくり	○地域のスポーツイベントやレクリエーション活動等への参加促進  ○プロスポーツチーム・日本リーグ在籍チームを核とした絆づくり ○東京オリンピック・パラリンピックの機会をとらえた国際交流・文化事業		県内市町村等の意向調査	
スポーツ環境の整備	競技スポーツ実施環境の実現	○海外選手受け入れ環境整備 ○競技スポーツ施設の整備		施設整備
	だれもがスポーツに参加できる環境の実現			利便性の向上



